

授業科目 韓国語II

【担当教員名】  林 河 運	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・義肢・健康・スポ・社会・看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

【概要・一般目標：G10】  
 ハングル文字の仕組みを理解した上で、初歩的な文法を習得しつつ、基本的な短文と日常生活でよく使う文型を反復練習し、簡単な日常韓国語ができるよう、学習する。

【学習目標・行動目標：SBO】  
 1 ハングル文字が読める。  
 2 簡単な韓国語の文章が理解できる。  
 3 簡単な日常韓国語が聞き取れる。  
 4 簡単な日常韓国語が話せる。(簡単な買い物ができるよう)  
 5 韓国ドラマを通じて韓国の文化についても学習する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	韓国語? Tで学んでない挨拶表現について学ぶ。		講義と演習
2	発音のルールである連音化について学ぶ。		講義と演習
3	その他の発音のルールについて学ぶ。(農音化・激音化・鼻音化など)		講義と演習
4	自己紹介について学ぶ。		講義と演習
5	「～が好きです」という文型を学ぶ。(食べ物・色・果物・スポーツなど)		講義と演習
6	「～が嫌いです」という文型を学ぶ。(食べ物・色・果物・スポーツなど)		講義と演習
7	「～たい(希望・願望表現)」という文型を学ぶ。		講義と演習
8	「～ください」という文型を学ぶ。		講義と演習
9	「～しないでください」という文型を学ぶ。		講義と演習
10	固有数詞(ハナ・トゥル・・・)について学ぶ。		講義と演習
11	物の数え方を用いて固有数詞を学んでいく。		講義と演習
12	漢数詞(イル・イ・サム・・・)について学ぶ。		講義と演習
13	買い物の場面を用いて漢数詞を学んでいく。		講義と演習
14	体と身の回りの表現について学ぶ。		講義と演習
15	親族用語について学ぶ。		講義と演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	チャレンジ!韓国語	金順玉・阪堂千津子	白水社	2004・2,100円
その他の資料	適宜ハンドアウトを配布する			

【評価方法】 出席・授業中の態度・定期試験などから総合的に判断する。	【履修上の留意点】
---------------------------------------	-----------